

大学の海外展開：TNEを中心に

中央教育審議会大学分科会
将来構想部会制度・教育改革WG（第4回）

一橋大学 国際教育センター
教授 太田 浩

Transnational Education (TNE)

- 120カ国がTNEに関与している。
 - 英国内で学ぶ外国人留学生：43.8万人
 - 英国の学位等の資格を得る課程を外国で学ぶ者：70万人
- 第1世代：学生と教職員の流動化
 - 学位留学、短期・単位留学、交換留学、客員研究員、訪問研究者等
- 第2世代：教育プログラムと機関（提供者）の流動化
 - Twinning, Franchise, Articulation, Joint/Double Degree Programs, Branch campus
- 第3世代：教育ハブの設置（TNEの集積：国内大学の参画を含む）
 - Student Hub, Talent Hub, Knowledge/Innovation Hub

出典：HESA *Introduction - Students 2015-16* & Knight, J. (2014). *International Education Hubs*.

Education Hubs

- Student Hub

- 内外の学生の獲得と教育、及び外国の高等教育機関（分校）の誘致
- 国内外の学生の高等教育へのアクセス向上、高等教育機関の国際化と現代化、収入の増加、知名度・ブランドの向上

- Talent Hub

- 内外の学生と労働者の獲得、教育、定着、及び外国の高等教育機関と企業の誘致
- 高度人材の獲得と拡大、サービス産業と知識経済移行への対応

- Knowledge/Innovation Hub

- 新しい知識と技術革新の創出、及び国内外の高等教育機関、研究所、企業の誘致
- 知識基盤経済の構築、外国直接投資の呼び込み、研究力と経済競争力の強化、ソフトパワーと政治的影響力の強化

TNEの種類と事例

- 協力・共同型TNE
 - Twinning & Joint/Double/Multiple Degree Programs
 - Articulation program: アジア（香港、シンガポール、マレーシア）の短期大学や専門学校から米国の大学への編入学（準学士→学士）
 - Franchise program: アジアの学位授与権を持たない高等教育機関において欧米の大学の学位課程を提供（シンガポールのSIM : Franchise university）
 - Bi-national university: 日本、ドイツなど
- 独立型TNE（受入国政府の誘致、協力、支援がある場合を含む）
 - Branch campus: 自前の海外分校
 - Distance education (Virtual university): University of Phoenix

参考 : UK NARIC (2017). *A Guide to Transnational Education*.

課題

1. 質を伴った学生と教員の確保：英語による授業の質の向上
2. 本校と分校のブランド力の差
3. 受入（誘致）国の支援の持続可能性
4. 受入（誘致）国の規制・制約（税制、研究支援資金や学生奨学金へのアクセス、学生に対するベネフィットへのアクセス）
5. 受入（誘致）国の高等教育機関との協力・連携関係構築
6. 外交・地政学的リスク
7. 供給国の規制・政策の緩和：定員規則・管理の問題（日本）
8. 供給大学の課程やカリキュラム及び学位・資格の受入国における妥当性、関連性、通用性：AACSB等の国際認証も重要